

令和4年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 教育学部
氏 名 平島 円

| | |
|-------|---|
| 活動テーマ | 三重大学隣接中学校区の学校園における学習及び活動支援 |
| 実施期間 | 令和 3年 5月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日 |
| 活動内容 | <p>(1) 具体的な活動実施内容 三重大学の隣接にある中学校区の一身田・橋北中学校区の9の学校園における学習及び活動支援を大学教員と大学生で実施した。今年度は緊急事態宣言や蔓延防止重点措置の発令により途中で活動が制限されたこともあり、実施可能期間が短かったにもかかわらず、活動は39にも及んでいる（3月末までの予定分を含む）。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり） 対象校区の学校園の授業をはじめとした教育活動の充実と、園児・児童・生徒一人ひとりに対するきめ細やかな支援による学びの保障を図ることができている。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況 上述したように近隣校区には9校園（1幼稚園，6小学校，2中学校）あり、それらすべてで延べ39の活動を展開し、参加人数は延べ444名であった。地域貢献活動事業としての活動は、今年度で終了となるが、来年度（令和4年度）も同様の活動を展開する方向で計画している。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり 学生が現場での学習・活動支援に参加することにより、学校現場を身近に感じ、タブレットの活用方法，板書の仕方，教師の立ち振る舞い，グループワークの使い方，メリハリのある授業づくり，活動に引き込む工夫などの「活動や授業の組み立て方や進め方」，コミュニケーションの取り方，声のかけ方，支援のしかた，多文化の子どもとの接し方の工夫，発達段階に合わせた対応，叱り方などの「園児・児童・生徒との関わり方」，子どもの反応や興味・関心，学力レベルといった「子ども理解」などを具体的に学び，自ら課題を見出すことによって，教師としての指導力や心構えを実践的に身につけることができるようになっている。大学生の授業実践的指導力の向上を図ることができている。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>(5) イベント等開催実績 (名称, 実施場所, 参加人数等)</p> <p>「一身田・橋北校区との連携活動についての報告会」を令和3年12月1日(水)にオンラインで開催した。大学教員や大学生, 近隣校区の学校園の教員, 附属学校園の教員計99名が参加した。</p> <p>(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果</p> <ul style="list-style-type: none">・地域へ貢献できている: 9校園の園児・児童・生徒への教育に貢献している。・大学生の実践的指導力の向上を図れている: 39の学習・活動支援に延べ444名の学生参加することで指導力を涵養している。 |
|--|---|